

第37回全国都市緑化ひろしまフェア実行委員会

第1回総会

会議資料

頁

○議案第1号：基本計画(案)について

基本計画(案)の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

基本計画(案)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (別冊)

○議案第2号：平成30年度事業計画(案)について・・・・・・・・・・ 4

○議案第3号：平成30年度予算(案)について・・・・・・・・・・ 5

日時：平成31年1月30日（水）14時30分

場所：ホテルメルパルク広島 6階「平成」

第37回 全国都市緑化ひろしまフェア基本計画（案）の概要

1 基本理念

東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、世界中から広島へ多くの人々が訪れる2020年、広島ならではの花や緑等の地域資源を活用して、県内全域で回遊と交流を生み出し、花や緑の大切さと平和の尊さを世界中の人々と分かち合い、より一層の豊かな地域づくりと世界恒久平和の実現につなげていくため、県内一円で全国都市緑化ひろしまフェアを開催します。

2 愛称

ひろしま はなのわ 2020

3 ひろしまフェアの開催テーマ

ひろしま はなのわ 2020
♪「花笑（はなえみ）」ひろしまから花と笑顔と平和の わ ♪

全国都市緑化フェア統一開催テーマ

『緑ゆたかなまちづくり』
窓辺に花を・くらしに緑を・街に緑を・あしたの緑をいまつくろう

4 開催概要

主催者等

主催者	広島県、広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸太田町、北広島町、大崎上島町、世羅町、神石高原町、公益財団法人都市緑化機構
共催者	国土交通省中国地方整備局
提唱	国土交通省
実行組織	第37回全国都市緑化ひろしまフェア実行委員会

開催期間

2020年3月19日（木）～11月23日（月・祝）（250日間）

会場

「メイン会場」及び「協賛会場」を拠点に、基本理念等に沿って連携する会場を「スポットイベント会場」として県内一円で展開し、花と緑等で広島の魅力を発信します。

メイン会場	場所	中央公園（旧広島市民球場跡地を中心とする区域）及びその周辺（広島市）
	期間	3月19日（木）～5月24日（日）67日間 ※5月25日（月）～11月23日（月・祝）は、他会場の案内や観光・市町情報を提供、連携イベントを開催
協賛会場	場所	国営備北丘陵公園（庄原市）、県立せら県民公園（世羅町）、県立びんご運動公園（尾道市）、県立みよし公園（三次市）
	期間	3月19日（木）～11月23日（月・祝）250日間
スポットイベント会場	場所	県内23市町のスポットイベント会場
	期間	2020年に開催する各スポットイベントの実施期間

目標来場者数

メイン会場：160万人

協賛会場・スポットイベント会場（対前年来場者増加数）：80万人

入場方式

メイン会場：無料

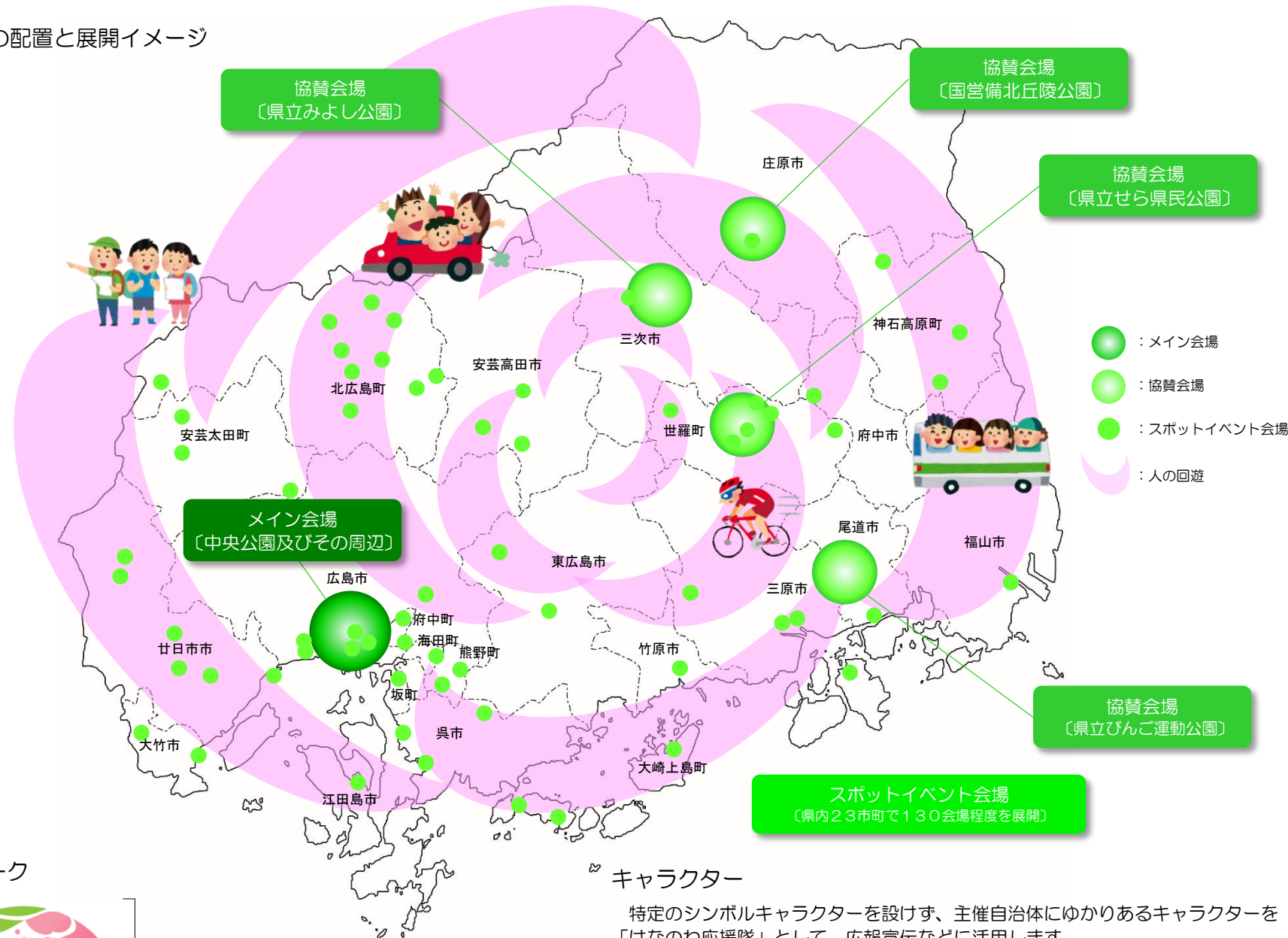
ただし、催事については有料のものを検討

協賛会場・スポットイベント会場：現行と同様

事業費

概ね12億円（協賛会場・スポットイベント会場費除く。）

会場の配置と展開イメージ



ロゴマーク



シンボルマーク

■ シンボルマーク
開催テーマにある「はなのわ」をイメージしながら、花と緑により人・自然・地域のつながりを育むとともに、瀬戸内海や中国山地、広島県のシンボルである紅葉などをモチーフとすることにより、県内一円で開催するひろしまフェアを表現しています。

ロゴタイプ

■ ロゴタイプ
「はなのわ」を強調するとともに、グラデーションを使用することで、春から秋までの開催に合わせ、移り変わる多彩で豊かな広島の自然を表現しています。

キャラクター

特定のシンボルキャラクターを設けず、主催自治体にゆかりあるキャラクターを「はなのわ応援隊」として、広報宣伝などに活用します。



5 事業スケジュール

2017（H29）年度	2018（H30）年度	2019（H31）年度	2020（H32）年度
基本構想	基本計画	実施計画	ひろしまフェア開催（3月～11月）
		広報宣伝等	撤去
		実施設計 会場整備	
国土交通大臣 開催同意	▲ 実行委員会設立 総会	▲ 総会	▲ 実行委員会 解散

6 メイン会場計画

水の都ひろしまゾーン

広島川の風景や豊かなライフスタイルを五感で満喫するゾーン

- 水辺の花畑
- 水辺カフェ
- こどもの川（かわの遊び）
- 被爆シダレヤナギ（既存）



森のガーデンゾーン

花や緑のある豊かなライフスタイルを五感で満喫するゾーン

- 企業団体等出展
- 森のカフェ
- こどもの森（さとの遊び）
- ハノーバー庭園（既存）



希望と思い出ゾーン

広島の平和と復興のメッセージを世界に発信するゾーン

- 未来に向けた思い出年表
- 県外自治体出展花壇
- 広島県内自治体共同花壇



ひろしま海ゾーン

広島をテーマとした遊びと憩いのゾーン

- こどもの海（うみの遊び）



はなのわ

ひろしまフェアの象徴として、会場を包み、県民をつなぐ、県民参加の花と緑のわ

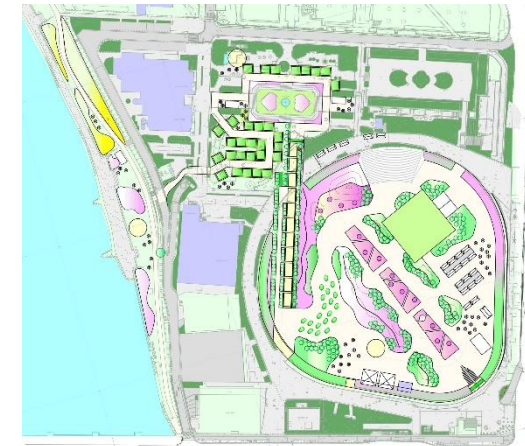
- はなのわフレーム
- はなのわガーデン
- ひろしまふるさと自慢

⇒ 11月23日まで設置



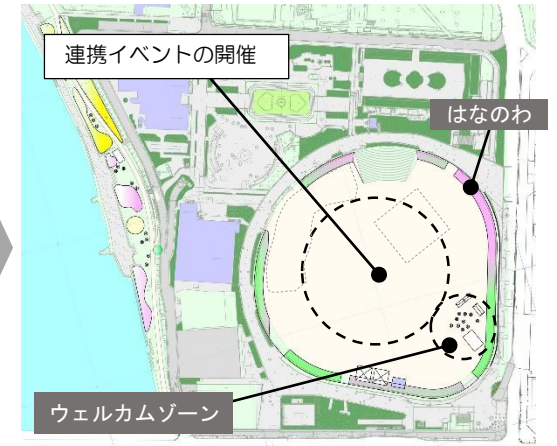
メイン会場の展開方針

メイン会場（3月19日～5月24日）



ひろしまフェアを象徴する景観演出や各種展示・出展、行催事を展開するとともに、スポットイベント会場や地域の魅力を情報発信

メイン会場（5月25日～11月23日）



はなのわ・ウェルカムゾーンを残し、旧広島市民球場跡地で行われている民間企画イベントを連携イベントとして展開するとともに、スポットイベント会場や地域の魅力を情報発信

イベント企画ゾーン

音楽を中心とした多彩なイベントや広島グルメにより、広島の魅力やにぎわいを楽しみ交流するゾーン

- イベントステージ
- イベント芝生広場
- 広島グルメ



ウェルカムゾーン

ひろしまフェアを知り、広島市の23市町の魅力に五感で触れ合い、交流するゾーン

- 総合案内所
- インフォメーション23
- イベント劇場23
- 体験イベントブース23

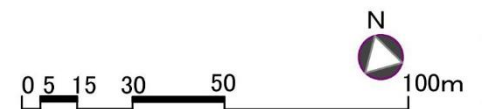


⇒ 11月23日まで設置

ひろしま風景ゾーン

ひろしまフェアの象徴として、広島市の海から山までの多彩な風景を花と緑により体感するゾーン

- ひろしま百景花壇（うみの景、まちの景、さとの景、やまの景）



7 協賛会場・スポットイベント会場計画

協賛会場

- 既存ストック（物的・人的資産）を活かしながら様々な協賛イベントを展開し、花や緑のある豊かなライフスタイルなどを実感するとともに、各公園の特性に応じた多様な公園利用者に、各地域のスポットイベント会場の情報発信を行い、回遊を促進する会場とします。
- 様々な主体が楽しみながら参加できる仕組みを取り入れるとともに、地域との連携をさらに高めることで、豊かな地域づくりの担い手の育成と圏域の地域づくりに資する公園づくりへとつなげていきます。



国営備北丘陵公園



県立みよし公園



県立びんご運動公園



県立せら県民公園

スポットイベント会場

- 既存イベントを花や緑等でブラッシュアップし、地域の花や緑、伝統文化等の魅力を実感できる会場とします。
- 花や緑をつなぎ手として、地域住民と来訪者との交流、地域住民と他のスポットイベント会場の地域住民との交流など、新たな交流を生み出す会場とします。
- 地域の企業や団体、学校、県民など、地域が主体となって、花と緑等によるにぎわい、地域の豊かなライフスタイルを創造する会場とし、豊かな地域づくりの担い手の育成につなげていきます。
- スポットイベントのPRをリレー展開することで、スポットイベント会場への誘客促進を図るとともに、ひろしまフェア閉会後も残る連携及びつながりづくり（ひろしま生花リレーの実施など）に取り組みます。
- スポットイベント会場等への旅行会社等によるツアー企画を働きかけるとともに、ツアーバスの運行も検討します。
- 春～秋の開催期間にわたり、メイン会場、協賛会場及びスポットイベント会場の回遊を促す仕組みづくり（スタンプラリーの実施など）に取り組みます。



広島市



呉市



竹原市



三原市



尾道市



福山市



府中市



三次市



庄原市



大竹市



東広島市



廿日市市



安芸高田市



江田島市



府中町



海田町



熊野町



坂町



安芸太田町



北広島町



大崎上島町



世羅町



神石高原町

平成 3 0 年度事業計画（案）

1 会議の開催

- ・ 実行委員会第 1 回総会を開催する。

2 実施計画等の策定

- ・ 会場整備に係る基本設計を行う。
- ・ 会場運営、観客誘致・広報宣伝、行催事等に係る実施計画を策定する。

3 協働団体・協賛等の募集

- ・ 企業、団体、学校及び自治体等への出展等の募集を実施する。

4 広報宣伝の実施

- ・ ポスター及びグッズ等の作成を行い、PR 活動を実施する。

5 行催事の実施

- ・ カウントダウンイベント（1 年前イベント）を実施する。

平成30年度予算（案）

収支予算

収入金額 90,000,000円

支出金額 90,000,000円

差 引 0円

【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	主な内容
負担金	90,000,000	・主催者負担金
合 計	90,000,000	

【支 出】

(単位：円)

項 目	金 額	主な内容
総務費	2,840,000	・実行委員会・事務局の運営経費
事業費	87,160,000	・会場整備に係る基本設計 ・会場運営、観客誘致・広報宣伝、行催事等に係る実施計画の策定 ・ポスター及びグッズ等の作成 ・PR活動の実施 ・カウントダウンイベントの実施
合 計	90,000,000	